

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療的ケアⅢ Medical CareⅢ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
こころとからだのしくみⅡ、生活支援技術Ⅵ、医療的ケアⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療的ケアⅡ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
和田晴美	福祉棟2F	月・火・水・木の9時から16時（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
医療的ケアⅢでは、経管栄養実施に必要な消化器系のしくみとはたらきについて、1年次の「こころとからだのしくみⅡ」での学びを振り返りながら進めていく。また、経管栄養によっておこる消化器の症状や経管栄養の対象、経管栄養のしくみと種類について学ぶ。さらに、高齢者および障害児・者への経管栄養の実施手順と留意点を学習し、後期の「医療的ケアⅣ」での経管栄養の実施につなげる。				
授業の目標				
①消化器官の構造と咀嚼・嚥下・消化・吸収のしくみを、説明できるようにする。 ②経管栄養の種類を説明できるようにする。 ③経管栄養を必要とする対象を、列挙できるようにする。 ④経管栄養により生じる危険と安全確認事項を、列挙できるようにする。 ⑤経管栄養の実施手順と留意点を、説明できるようにする。				
授業の方法				
主に講義形式である。既習内容については、知識の確認をしながら進める。また、学生が具体的にイメージしやすいように、経管栄養が必要な利用者については事例や視聴覚教材を用い、経管栄養で用いる器具・器材については実物を提示する。				
学習の成果（学習成果）				
消化器官のしくみとはたらき、経管栄養の必要性や生じる危険等をふまえた上で、経管栄養を行う利用者と家族の気持ちを思いはかりながら、医療的ケアである経管栄養を安全かつ適切に実施するために必要な知識を習得することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって授業概要 授業の目標と学習の成果 評価方法等の説明） 消化器系のしくみとはたらき① 既習知識の確認			
第2回目	消化器系のしくみとはたらき② 消化器官の構造と機能 消化吸収の仕組み			
第3回目	よくある消化器の症状①			
第4回目	よくある消化器の症状② 経管栄養が必要な状態			
第5回目	経管栄養のしくみと種類① 経管栄養のしくみ、種類			
第6回目	経管栄養のしくみと種類② 注入する内容に関する知識 実施上の留意点			

第7回目	子どもの経管栄養　（小テスト①）	
第8回目	経管栄養により生じる危険とその対処　感染と予防　経管栄養で起こりうる異変　注入後の安全確認 経管栄養を受ける利用者と家族の気持ち	
第9回目	経管栄養の実施手順と観察項目 視聴覚教材「経管栄養」の視聴による実施手順と留意点の確認	
第10回目	経管栄養で用いる器具・器材　実施手順と留意点の確認	
第11回目	経管栄養の実施手順と留意点の把握　【演習】経鼻経管栄養	
第12回目	経管栄養の実施手順と留意点の把握　【演習】胃ろう・腸ろう　＜経管栄養に関するレポート課題　第14回に提出＞	
第13回目	経管栄養に必要なケア　事故発生時の対応と事前対策	
第14回目	報告と記録	
第15回目	経管栄養実施時の事故と対応、安全な経管栄養を実施するために　【グループディスカッション・発表】　（小テスト②）	
事前・事後学習	シラバスを見て、次回の内容をテキストで確認しておくこと。授業で不明であったことは、図書館などを利用して次回授業までに調べておくこと。わからない時には担当教員に質問すること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。ディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。
レポート	20%	経管栄養に関するレポートを提示し、以下の視点で評価する。①経管栄養についての自分の意見が述べられていること。②経管栄養が必要な利用者の思いを考察していること。
調査報告書		
小テスト	60%	授業の振り返り、知識習得の確認のため、第7回目、15回目に小テストを行い、答え合わせと解説をする。問題は文章の正誤を判断するものや語群からの選択問題、穴埋め問題等。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
新・介護福祉士養成講座　第15巻　医療的ケア　中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
講義・演習・グループディスカッションともに積極的に参加することを望む。演習時は身だしなみを整えること。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。この授業は「医療的ケアⅠ」に引き続き行う前期後半のクォーター科目である。週２回授業があるので、注意すること。		